

防衛 ホーム

(昭和49年11月22日第三種郵便物認可)
毎月1・15日発行 1部130円

発行所 防衛ホーム新聞社

〒162 東京都新宿区市谷本村町3-26
電話 (03) 3268-0711(代)
FAX (03) 3268-0710
http://www.boueinews.com

「日本論語研究会」第1回大賞 安岡正泰氏が受賞

慶應義塾大学(東京都港 岡正篤師の御子息である。区)で毎月1回、土曜日に開催されている「日本論語研究会(代表幹事・田村重信氏)」の通算開催50周年記念として、この度「第1回・日本論語研究会大賞」の授賞式が53度目の開催となる10月3日に行われた。栄えある第1回の受賞者には安岡正泰・財郷学研修所理事長が決定した。安岡氏は「敗戦の詔勅」の補筆や元号「平成」の名付けの親としても知られる故・安

親としても知られる故・安岡氏は「敗戦の詔勅」の補筆や元号「平成」の名付けの親としても知られる故・安岡氏に、00人前後が集まり、夕暮れせまる教室を埋め尽くす無く、後に続いて唱和する。行っ点である。代表の田村氏が論語の一節を先立って読み、講師も聴講者も区別なく、後に続いて唱和する。

講師の顔ぶれには「ヒゲの隊長」こと佐藤正久(イラク先遣隊長・参議院議員)や山本卓真(陸軍OB・富士通名誉会長)、中條高德(陸軍OB・アサヒビール名誉顧問)といった防衛関係者のほか、加藤良三・日本プロ野球コミッショナーや山田英雄・元警察庁長官など官界の要職を務めた先達、沢沢健・沢沢栄一5代目子孫など多士濟々、いずれも講師で魅了する盛会となった。同会のホームページはhttp://www.rongokuen.jp/参加に関する問い合わせは代表幹事・田村氏(stamura@he.jim.in.or.jp)まで。(日本論語研究会 高橋大輔)



大賞の楯を手にする安岡氏(左)。中央は小林教授、右は田村氏

まじになった。この会のユニークなところは、毎回多彩なゲスト講師を招いて論語にまつわる講演を行うほか、全員が一休となって「論語の素読」を講ずる。講師の顔ぶれには「ヒゲの隊長」こと佐藤正久(イラク先遣隊長・参議院議員)や山本卓真(陸軍OB・富士通名誉会長)、中條高德(陸軍OB・アサヒビール名誉顧問)といった防衛関係者のほか、加藤良三・日本プロ野球コミッショナーや山田英雄・元警察庁長官など官界の要職を務めた先達、沢沢健・沢沢栄一5代目子孫など多士濟々、いずれも講師で魅了する盛会となった。同会のホームページはhttp://www.rongokuen.jp/参加に関する問い合わせは代表幹事・田村氏(stamura@he.jim.in.or.jp)まで。(日本論語研究会 高橋大輔)